

I. 【問1】から【問5】にあてはまる最も適切な語を各選択肢1から3の中から選べ。

1) 前漢時代に書かれた「傷寒論」と「金匱要略」の作者は【問1】である。

1. 張仲景 2. 李東垣 3. 陶弘景

2) 西暦659年、蘇敬らは「新修本草」を著わした。この勅撰本草は別名【問2】と呼ばれており、仁和寺に写本の一部が残されている。

1. 名医別録 2. 唐本草 3. 図經本草

3) 宋代に編纂された【問3】は、国定の処方解説書として発行された医薬品の処方集で297処方が記載されている。

1. 備急千金要方 2. 和剂局方 3. 万病回春

4) 明の時代の1596年に李時珍が著わした本草綱目には、およそ1,900種の薬物が収載されており、我が国の江戸時代の本草学者【問4】に大きな影響を与えた。

1. 小野蘭山 2. 田代三喜 3. 岡本一抱

5) 「養生訓」で知られる【問5】は、「本草綱目」所載の薬物と我が国の民間薬とをあわせた「大和本草」を著わした。

1. 新井白石 2. 平賀源内 3. 貝原益軒

正解

【問1】1. 張仲景 【問2】2. 唐本草 【問3】2. 和剂局方
【問4】1. 小野蘭山 【問5】3. 貝原益軒

Ⅱ. 次の 1) から 9) は常用生薬に関する記述である。解答群 1 の中から、最も適切な生薬を 1 つ選べ。なお、解答群 1 の各選択肢は 1 回のみ使用できるものとする。

- 1) 瀉下薬として作用する生薬【問 6】
- 2) 利尿薬として作用する生薬【問 7】
- 3) 駆瘀血薬として作用する生薬【問 8】
- 4) 気の失調（気虚、気うつ、気逆）に用いられる生薬【問 9】
- 5) 不眠、心悸亢進、胃もたれなどの副作用が起こりやすく、狭心症、心筋梗塞の既往のある人は原則として禁忌である生薬【問 10】
- 6) 長期投与により腸間膜静脈硬化症が報告されており注意を要する生薬【問 11】
- 7) 投与後に高血圧、むくみ、カリウム喪失等の症状が現れることがあり、ループ利尿薬などとの併用を含め注意を要する生薬【問 12】
- 8) 八味丸などに含まれ、補血、強壮、解熱、止血作用などがあるが、胃腸の弱いものは注意が必要で食欲不振や胃部不快感が現れることがある生薬【問 13】
- 9) 冷えによる痛みを除く生薬であり、心悸亢進、舌のしびれ、悪心などの副作用が現れることがあるので慎重に投与する必要がある生薬【問 14】

解答群 1

1. 甘草 2. 山梔子 3. 地黄 4. 蘇葉 5. 桃仁 6. 附子 7. 茯苓
8. 大黄 9. 麻黄

正解

- 【問 6】 8. 大黄 【問 7】 7. 茯苓 【問 8】 5. 桃仁 【問 9】 4. 蘇葉
【問 10】 9. 麻黄 【問 11】 2. 山梔子 【問 12】 1. 甘草 【問 13】 3. 地黄
【問 14】 6. 附子

Ⅲ. 日本薬局方に関する記載AからEについて、正しいものだけを組み合わせたものを解答群2の中から選べ。【問15】

- A. 日本薬局方通則第5項において、性状の項並びに製剤に関する貯法及び有効期間の項は参考にしたもので、適否の判定基準を示すものではないとあるので、生薬の性状は、あくまでも参考にしたものである。
- B. 日本薬局方には、生薬総則及び生薬試験法を適用しない生薬も収載されている。
- C. 生薬総則では、生薬の性状について、適否の判断基準としている。
- D. 生薬の性状は、原則、全形生薬の形状が示されるが、切断生薬について記載されている場合もある。
- E. 生薬製剤とは、エキス剤、丸剤、酒精剤、浸剤・煎剤、茶剤、チンキ剤、芳香水剤及び流エキス剤のことを示している。

解答群2

- 1. (A、B) 2. (A、C) 3. (A、E) 4. (B、C) 5. (B、D)
- 6. (B、E) 7. (C、D) 8. (C、E) 9. (D、E)

正解

【問15】 5. (B、D)

Ⅳ．便秘の漢方治療について、【問 16】から【問 22】にあてはまる最も適切なのはどれか。【問 16】【問 17】【問 20】【問 21】【問 22】は解答群 3、【問 18】と【問 19】は解答群 4の中から選べ。

急性便秘には【問 16】、慢性の場合や水分が少ない硬い便の便秘には【問 17】が第一選択となる。【問 17】に配合されている【問 18】が腸内を潤すことにより排便を促し、【問 19】が腹部の緊張を緩める。

便秘するとお腹がはるという際には【問 20】が有効であり、より強い便秘腹満には【問 21】を用いる。いらいらと心下痞を認める便秘の場合は【問 22】が適応される。

解答群 3（【問 16】【問 17】【問 20】【問 21】【問 22】）

1. 大黃甘草湯 2. 麻子仁丸 3. 桃核承氣湯 4. 大黃牡丹皮湯
5. 三黃瀉心湯 6. 大承氣湯 7. 桂枝加芍藥湯 8. 桂枝加芍藥大黃湯 9. 通導散

解答群 4（【問 18】【問 19】）

1. 大黃 2. 芍藥 3. 甘草 4. 芒硝 5. 麻子仁 6. 杏仁 7. 桃仁
8. 杏仁と麻子仁 9. 桃仁と麻子仁 0. 桃仁と杏仁

正解

【問 16】 1. 大黃甘草湯 【問 17】 2. 麻子仁丸 【問 18】 8. 杏仁と麻子仁
【問 19】 2. 芍藥 【問 20】 8. 桂枝加芍藥大黃湯 【問 21】 6. 大承氣湯
【問 22】 5. 三黃瀉心湯

V. 抑肝散について、【問 23】から【問 29】にあてはまる最も適切なのはどれか。【問 23】から【問 27】までは解答群 5、【問 28】と【問 29】は解答群 6の中から選べ。

五臓の肝は【問 23】をつかさどり、抑肝散の名称は、肝の機能異常を調整することから命名された。主薬である【問 24】は、【問 25】と協力して亢進した【問 23】を鎮めるとともに、【問 26】と川芎により肝の気血の流れをよくし、茯苓と朮で【問 27】の流れを整える。

抑肝散は、元来【問 28】などに用いる処方であったが、最近では【問 29】の改善を目的に使用されている。

解答群 5（【問 23】【問 24】【問 25】【問 26】【問 27】）

1. 循環器系活動 2. 精神活動 3. 生殖活動 4. 柴胡 5. 人參 6. 釣藤鈎
7. 当帰 8. 芍薬 9. 気 0. 水

解答群 6（【問 28】【問 29】）

1. 慢性頭痛 2. 片頭痛 3. 小児の夜泣き 4. 腹中の冷え 5. 不定愁訴
6. 認知症の中核症状 7. 認知症の周辺症状 8. 高血圧

正解

【問 23】 2. 精神活動 【問 24】 6. 釣藤鈎 【問 25】 4. 柴胡 【問 26】 7. 当帰
【問 27】 0. 水 【問 28】 3. 小児の夜泣き 【問 29】 7. 認知症の周辺症状

Ⅵ. 感冒の漢方治療について、【問 30】 から【問 44】 にあてはまる最も適切なのはどれか。
【問 30】 から【問 37】 までは解答群 7、【問 38】 から【問 44】 までは解答群 8の中から選
べ。

- 1) 傷寒論は感冒など急性感染症の治療について述べており、感染初期の太陽病の時期には
自然発汗がない表実証で喘鳴、関節痛、咽痛には【問 30】 が、項背部の強いこりには
【問 31】 が用いられる。一方、自然発汗がある表虚証で鼻炎症状、乾嘔には【問 32】
が、また、膨満感、腹満感があり気滯を伴うものには【問 33】 が用いられる。一方、
わずかに自然発汗がある表証の虚実間証で喘鳴や水様鼻汁があり水滯を伴う場合には
【問 34】 を、咽痛や皮膚のかゆみに熱感を伴うものに【問 35】 が用いられる。これに
対し高齢者や非常に疲れている人は太陽病の時期がほとんどなく寒気のみ少陰病と
なり表寒証で冷えのため無汗で、悪寒や咳嗽、咽痛があり気虚を伴う場合は【問 36】
を、また、脈沈で四肢冷感や、下痢、全身倦怠、眩暈があり気虚や水滯を伴う場合は【問
37】 が用いられる。

解答群 7

1. 桂枝湯 2. 桂麻各半湯 3. 小柴胡湯 4. 葛根湯 5. 麻黄湯
6. 麻黄附子細辛湯 7. 小青竜湯 8. 真武湯 9. 半夏厚朴湯 0. 香蘇散

2) 感冒の亜急性期の少陽病が主体となる時期には悪寒と熱感が繰り返しながら体温が上昇する【問 38】や、呼吸器症状、裏証の胃腸症状が現れる。このような時にみぞおちあたりが苦しい【問 39】がある虚実中間証には【問 40】が用いられる。また体力中等度のやや虚証で腹痛や胃腸炎症状のある場合は【問 41】が用いられる。体力中等度以上の喘息様の症状では【問 42】などが、痰が多い時は体力中等度で気分がふさいで咽喉、食道部に異物感があり、動悸、眩暈、嘔気等を目標とする【問 43】などが用いられる。また、体力中等度以下で、痰がほとんど出ない空咳のあるもの、または咽喉頭の乾燥感のあるもの、粘稠で切れにくい痰を伴うものには【問 44】が用いられる。

解答群 8

1. 麦門冬湯 2. 半夏厚朴湯 3. 半夏瀉心湯 4. 小柴胡湯 5. 大柴胡湯
6. 柴胡桂枝湯 7. 麻杏甘石湯 8. 往来寒熱 9. 胸脇苦満 0. 小腹急結

正解

1)

【問 30】 5. 麻黄湯 【問 31】 4. 葛根湯 【問 32】 1. 桂枝湯 【問 33】 0. 香蘇散
【問 34】 7. 小青竜湯 【問 35】 2. 桂麻各半湯 【問 36】 6. 麻黄附子細辛湯
【問 37】 8. 真武湯

2)

【問 38】 8. 往来寒熱 【問 39】 9. 胸脇苦満 【問 40】 4. 小柴胡湯
【問 41】 6. 柴胡桂枝湯 【問 42】 7. 麻杏甘石湯 【問 43】 2. 半夏厚朴湯
【問 44】 1. 麦門冬湯

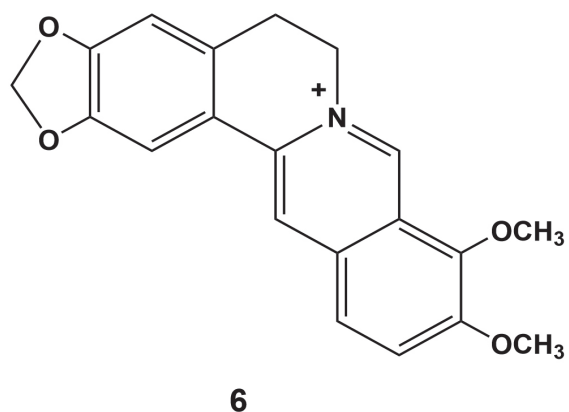
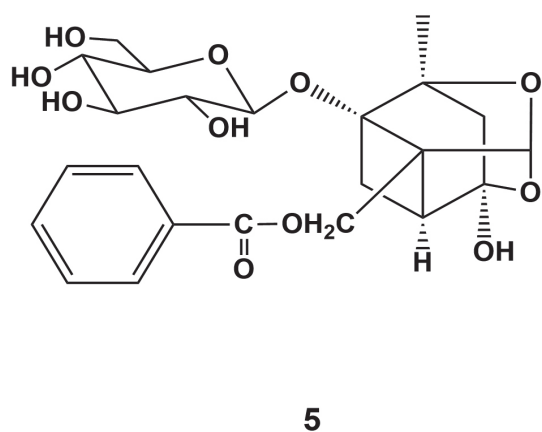
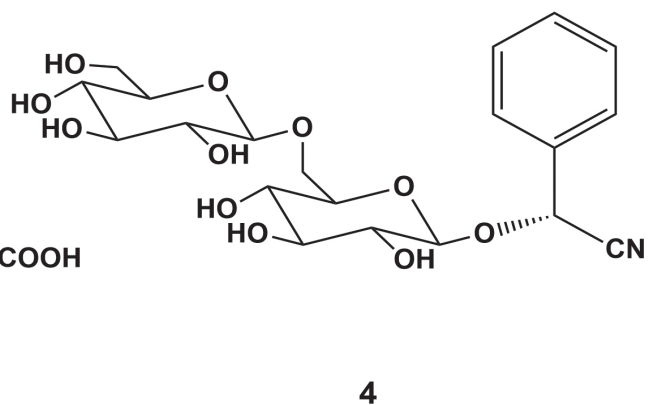
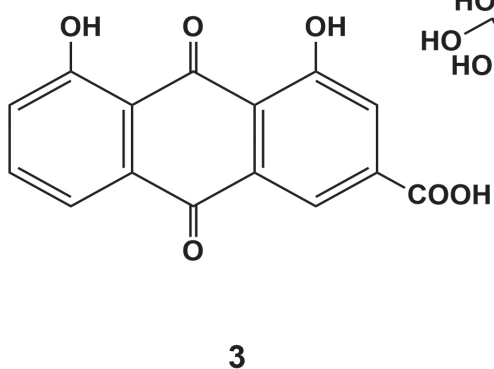
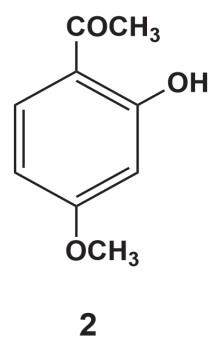
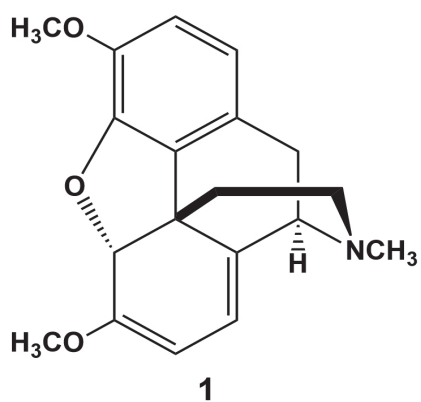
Ⅶ. 次にあげる生薬について、主たる基原植物を解答群 9 から、日本薬局方における薄層クロマトグラフィーによる確認試験の指標成分を解答群 10 から選べ。なお、解答群 10 は同じ番号を何回選んでもよい。

生薬名	基原植物	指標成分
1) 桃仁	【問 45】	【問 46】
2) 牡丹皮	【問 47】	【問 48】
3) 黄連	【問 49】	【問 50】
4) 大黃	【問 51】	【問 52】
5) 芍薬	【問 53】	【問 54】
6) 黄柏	【問 55】	【問 56】

解答群 9

1. *Phellodendron amurense* Ruprecht 2. *Coptis japonica* Makino
 3. *Paeonia lactifolia* Pallas 4. *Paeonia suffruticosa* Andrew
 5. *Rheum palmatum* Linné 6. *Prunus armeniaca* Linné

解答群 10



正解

生薬名	基原植物	指標成分
1) 桃仁	【問 45】 6. ※	【問 46】 4.
2) 牡丹皮	【問 47】 4.	【問 48】 2.
3) 黄連	【問 49】 2.	【問 50】 6.
4) 大黄	【問 51】 5.	【問 52】 3.
5) 芍薬	【問 53】 3.	【問 54】 5.
6) 黄柏	【問 55】 1.	【問 56】 6.

※ 【問45】については、桃仁の基原植物 *Prunus persica* Batsch であるところだが、選択肢では、杏仁の基原植物 *Prunus armeniaca* Linné となっていたため、全員正解とした。

Ⅷ. 次の 1) から 8) に書かれている薬用植物の学名を解答群 11 から、その植物の写真
を解答群 12 から、その植物から作られる生薬名を解答群 13 から、その生薬の基原となる
部位を解答群 14 から選べ。なお、解答群 14 は同じ番号を何回選んでもよい。

- 1) 花期は本州や九州では 11 月後半頃。近年は国産の生薬は激減し、スペイン産や中国産が増えている。いわゆる婦人薬に配合されることが多い。
- 2) 花期は夏から秋。日本で昔から使われてきたいわゆる和薬のひとつで、胃腸の調子を整える効果が期待される。タンニンを多く含む。
- 3) 花期は春。日局には複数の種が基原として挙げられている。強壯作用を期待してエキスが一般用医薬品にしばしば配合される。
- 4) フィロズルシンを含み、味が甘い。
- 5) 野生の本植物は絶滅危惧種であるが、観賞用にも多く栽培される。生薬はサポニンを含み、鎮咳・去痰作用等を期待して処方に配合される。
- 6) 花期は晩夏。単子葉植物。生薬は、漢方処方に配合されるほか、単味でイボ取りの効果を期待して使われる。
- 7) 花期は夏。生薬は神農本草経の上品に分類されている。主に民間薬や薬草茶の材料として利用されている。
- 8) 花期は初夏。街路樹としてもしばしば植栽される木本である。生薬は利尿作用を期待して民間薬として多く利用されてきた。

薬用植物	学名	写真	生薬名	部位
1)	【問 57】	【問 58】	【問 59】	【問 60】
2)	【問 61】	【問 62】	【問 63】	【問 64】
3)	【問 65】	【問 66】	【問 67】	【問 68】
4)	【問 69】	【問 70】	【問 71】	【問 72】
5)	【問 73】	【問 74】	【問 75】	【問 76】
6)	【問 77】	【問 78】	【問 79】	【問 80】
7)	【問 81】	【問 82】	【問 83】	【問 84】
8)	【問 85】	【問 86】	【問 87】	【問 88】

解答群 11

- 1 . *Cassia obtusifolia* Linné
- 2 . *Catalpa ovata* G. Don
- 3 . *Coix lacryma-jobi* Linné var. *mayuen* Stapf
- 4 . *Crocus sativus* Linné
- 5 . *Epimedium grandiflorum* Morren var. *thunbergianum* Nakai
- 6 . *Geranium thunbergii* Siebold et Zuccarini
- 7 . *Hydrangea macrophylla* Seringe var. *thunbergii* Makino
- 8 . *Paeonia lactiflora* Pallas
- 9 . *Platycodon grandiflorus* A. De Candolle

解答群 12

1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.



8.



9.



解答群 13

1. アマチャ 2. インヨウカク 3. キキョウ 4. キササゲ 5. ケツメイシ
6. ゲンノショウコ 7. サフラン 8. シャクヤク 9. ヨクイニン

解答群 14

1. 地上部 2. 葉および枝先 3. 茎 4. 果実 5. 果皮 6. 種子 7. 柱頭
8. 根 9. 根茎

正解

薬用植物	学名	写真	生薬名	部位
1)	【問 57】 4	【問 58】 8	【問 59】 7	【問 60】 7
2)	【問 61】 6	【問 62】 4	【問 63】 6	【問 64】 1
3)	【問 65】 5	【問 66】 2	【問 67】 2	【問 68】 1
4)	【問 69】 7	【問 70】 6	【問 71】 1	【問 72】 2
5)	【問 73】 9	【問 74】 7	【問 75】 3	【問 76】 8
6)	【問 77】 3	【問 78】 5	【問 79】 9	【問 80】 6
7)	【問 81】 1	【問 82】 9	【問 83】 5	【問 84】 6
8)	【問 85】 2	【問 86】 1	【問 87】 4	【問 88】 4

「芍」の中の字は「一」